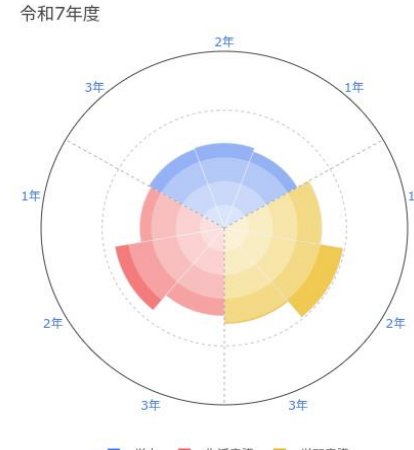


学力向上アクションプラン

重点取組分野		具体的取組
授業力向上		①朝学習や授業でAIDリルを積極的に活用する。 ②小中でカリキュラムを共有し、一貫性のある指導を目指す。 ③放課後学習会「ブリッジ」を生徒の実態に合わせ、柔軟に実施していく。 ④生徒への「授業アンケート」年2回の実施から、授業力向上を不断に行う。
担当	学習指導部	

学力向上に関わる本校の状況		今年度の目標
(1)学力に関わる児童生徒の実態 横浜市学力・学習状況調査や全国学力・学習状況調査の結果では、本校の生徒は全般的に平均値が2/3程度～平均値の半分の傾向が長年続いている。基礎基本を大切にする授業実施と基礎学力定着が必要である。 横浜市学力状況調査結果  令和7年度 ■ 学力 ■ 生活意識 ■ 学習意識 (2)これまでの学校の取組状況 学力向上に関わる学校の取り組みとしては、年3回の「授業を見合う週間」の設定と、全教職員での振り返りを通して授業力向上に取り組んでいるが、学力向上が目に見える形になっているとは言い難い状況があるため、生徒の学習環境を整え、教員の授業力向上が求められる。		◎個に応じた、一人ひとりの基礎学力向上を目指し、学習環境の整備と学習習慣の定着を全教員で取り組む ◎ICTの積極的な活用に取り組み、自ら学ぶ姿勢の育成を図る
目標を実現するための具体的行動プラン		
上半期		◎個に応じた指導方法の研究と実践を行い、学年会での全教員による生徒一人ひとりの学習習熟度の把握し、放課後学習を活用する。 ◎学習指導部による『授業を見合う週間』の実施と、振り返りの研修会により、個別最適な指導方法の確立と実行 ◎管理職および主幹教諭による積極的な授業観察と適切な助言を定期的に行う ◎AIDリルを毎日の朝学活と授業で活用し、週に1度、自己の学びを振り返る機会を設け、学習の定着を図る ◎研修を通じて、評価と指導の一体化を図る ◎小学校教員との指導内容の共有を密に行い、9年間を見通した指導実践につなげる ◎7月の授業評価の分析を行い、その後の授業改善につなげる
下半期		◎全国・横浜市学力状況調査を教科会で分析をし、全教員による生徒一人ひとりの学習習熟度の把握と、個に応じた指導方法の研究と実践 ◎学習指導部による『授業を見合う週間』の実施と、振り返りの研修会により、個別最適な指導方法の確立と実行 ◎管理職および主幹教諭による積極的な授業観察と適切な助言を定期的に行う ◎AIDリルを毎日の朝学活と授業で活用し、週に1度、自己の学びを振り返る機会を設け、学習の定着を図る ◎12月の授業評価の分析を行い、その後の授業改善につなげる ◎学校評価アンケートで保護者の考えを確認し、生徒の指導につなげていく